

なんと観光予報

月次分析コメント

期 間	分析コメント
2026年11月度 (2026/11/1~2026/11/30)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から 21.1%、ユーザー数は 14.7%、新規ユーザー数は 14.7%と、先月までのサイト利用から比べると控えめな傾向となりました。</p> <p>人気ページランキングでは、先月5位だった「福野のごっつお里いもまつり」が順位を上げ、1位となりました。それに伴い検索キーワードランキングでも、上位は里いもまつりにちなんだワードが大半を占めました。当日は保育園児や小学生が主体となって行う催しがあり、親子連れが多く訪れることが予想されるため、幅広い世代が楽しめる取り組みが有効となるでしょう。</p> <p>またページ別外部リンククリック数のランキングに、12/1~開催の「なんと観光デジタルクーポン事業」のページが既にランクインしており、多くの方が興味を示しています。市内宿泊者やレンタカー利用の観光客に対するアプローチとして、クーポンの利用可能施設や関連施設は宿泊料金の掲載や駐車場の案内を得やすい広告を打ち出すことで、より利用者には選ばれる要因をつくりやすくなることが予想されます。</p>
2025年10月度 (2025/10/1~2025/10/31)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から 1.3%、ユーザー数は 6.3%、新規ユーザー数は 6.8%と、先月までのサイト利用から減少傾向となりました。</p> <p>検索キーワードランキングでは、福光ねつおくり七夕まつりに集中していた7月とは打って変わって上位については一つの地域が独占することはなく、検索が各地域に分散している印象でした。イベントでは、最上位にむぎや祭り、次点でこきりご祭りがランクインしていました。9月はいよいよ祭り本番に向けて一層にぎやかになってきましたので、県外からの来訪者にとってもわかりやすく感じられるような情報を出していきます。</p> <p>興味関心別ユーザー数においては、7月に引き続いてフード&ダイニングに興味を持っているユーザーが多くサイトを訪問していることがわかるので、食欲を刺激するようなコンテンツや広告を打ち出すのも効果的ではないかと思えます。</p> <p>※現在、HP中の「観光消費動態調査」のページはシステムの都合により休止中です。復旧次第、再開いたします。</p>
2025年8月度 (2025/8/1~2025/8/31)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から 1.3%、ユーザー数は 6.3%、新規ユーザー数は 6.8%と、先月までのサイト利用から減少傾向となりました。</p> <p>検索キーワードランキングでは、福光ねつおくり七夕まつりに集中していた7月とは打って変わって上位については一つの地域が独占することはなく、検索が各地域に分散している印象でした。イベントでは、最上位にむぎや祭り、次点でこきりご祭りがランクインしていました。9月はいよいよ祭り本番に向けて一層にぎやかになってきましたので、県外</p>

	<p>からの来訪者にとってもわかりやすく感じられるような情報を出していきたいでしょう。</p> <p>興味関心別ユーザー数においては、7月に引き続いてフード&ダイニングに興味を持っているユーザーが多くサイトを訪問していることがわかるので、食欲を刺激するようなコンテンツや広告を打ち出すのも効果的ではないかと思えます</p>
2025年7月度 (2025/7/1~2025/7/30)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から20.4%、ユーザー数は18.3%、新規ユーザー数も17.7%と、先月までのサイト利用から増加傾向に転じました。</p> <p>検索キーワードランキングでは、6月から既に注目を集めていたねつおくりに関するワードが上位多数を占めており、大きなイベントの開催についての広報は早めに公開したとしても二か月程度であれば十分な告知力を維持できていることがわかります。9月に開催されるむぎやまつりへ興味を示す方も既に見受けられたので、早めの広報を打つチャンスではないかと思えます。</p> <p>人気ページランキングおよび外部リンクへのページ別クリック数を見ると、井波・城端それぞれのエリアについての「観光スポット・グルメ・アクセス情報」のページを閲覧する方が多く見られました。これは城端では虫干法会、井波では太子伝会が開催されていたことに起因するのではないかと推測できます。</p> <p>イベント等の開催があれば、詳細な日程やプログラム等をあらかじめHPや各種SNSに記載しておくことで来訪者は周遊プランを練りやすくなり、自ずと開催地周辺の情報を集めるようになるでしょう。</p>
2025年6月度 (2025/6/1~2025/6/30)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から21.8%、ユーザー数は17.9%、新規ユーザー数も15.8%と、先月までのサイト利用とは打って変わってページの利用者数はそれぞれ落ち着いた数値となりました。</p> <p>6月は連休がなく、連日にわたって開催される大型イベントも少なかったからではないかと推測します。</p> <p>人気ページランキングでは、4位に「高瀬遺跡菖蒲祭り」5位に「だまし川のほたるとかっぱ村祭り」がランクインしており、さらに上の3位には7月のイベントである「福光ねつおくり七夕祭り」がランクインしていました。また、検索キーワードランキングの上位も、ねつおくり関連の検索が多数を占めており、7月に入るとより一層注目を集めるのではないかと考えられます。</p> <p>これからの夏祭りシーズンに向けて、祭りと絡めた情報発信が有効かと思われれます。また、人気のイベントの前後は、イベントの情報を一か月前から出すなどして、早めの広報を行うことが集客につながるでしょう。</p>
2025年5月度 (2025/5/1~2025/5/31)	<p>サイト全体のページビュー数が先月から0.4%増加ユーザー数は6.4%増加しており、新規ユーザー数も4.8%と、先月ほど大幅ではありませんが増加傾向です。ゴールデンウィークが明けて夏以降の旅行シーズンに向け、たくさんのHP利用者がいることがわかります。</p> <p>検索キーワードランキングでは、上位にはゴールデンウィーク中の祭りへのアクセスが多く、次点で自然を活かしたアクティビティやその関連施設に関する検索が多かったです。また、先月と比較すると今月の検索内容では神社仏閣に関するコンテンツの比重が大きくなっている印象を受けました。人気ページランキングでは温泉施設が注目を浴び始めて</p>

	<p>いるようで、上旬のゴールデンウィークに目立った、アクティブな体験を提供するよりも少し落ち着いた内容の体験を提供するのが効果的であると考えます。</p> <p>体験型のプログラムには季節・天候の不安定さに合わせた、室内で活動できそうなものを意識的に組み込んでみると良いのではないのでしょうか。</p>
<p>2025年4月度 (2025/4/1~2025/4/30)</p>	<p>サイト全体のページビュー数が先月から 51.5%増加、ユーザー数は 49.7%増加しており、新規ユーザー数も 46.6%と大幅に増加しています。これらの値が急激に増加した背景には、PR TIMES による夜高祭等の情報発信の盛り上げ、SEO 対策を強化したこと、および今年は縄が池の水芭蕉の見頃が予測しにくかったことなどが挙げられます。</p> <p>先月と同様に、検索キーワードランキングでは祭りや桜についての情報へのアクセスが多かったようです。特に、「福野夜高祭」や「城端曳山祭り」「井波よいやさ祭り」等ゴールデンウィーク中のイベントへの注目が高まっていました。</p> <p>祭り関連以外にも山開きや利賀のロゲイニング、縄が池の水芭蕉関連のアクセスも増えてきており、自然を活かしたアクティビティに興味を持つ方が増える時期となっている印象を受けました。それに伴い、来訪者は天候に意識を向けやすいのではないかと考えます。予期せぬ悪天候に見舞われたとしても観光を楽しめることをアピールするのが効果的ではないかと思われまます。</p> <p>雨が降ったときやティーブレイクを挟みたいときに、来訪者が気軽に利用することができる休憩スポットなどの案内といった付加価値をつけることで、さらに関連事業の需要は高まるのではないのでしょうか。</p>
<p>2025年3月度 (2025/3/1~2025/3/31)</p>	<p>ページビュー数が先月から 11.9%増加、ユーザー数も 5.9%増加しており、新規ユーザー数も増加しています。</p> <p>昨年3月と同様に、人気ページランキングでは祭りや桜についての情報へのアクセスが多かったようです。一方、検索ワードにある桜に関する具体的な場所の情報などを探す検索ワードは、それほど多くなかったのではないかという印象でした。(「〇〇桜」のような)</p> <p>イベントのページにある「城端しだれ桜まつり」に興味を持たれた方が多かったので、市内の桜の各名所とイベントとを結び付けて開催場所を大胆に名所化させるような、広報・取り組みを行うのが効果的ではないかと考えます。イベントフライヤーにあるような食べ歩きスポットマップなど、季節(今回は桜)にちなむ事業が集中している地域をピックアップしてイベントを演出してみたいかがでしょう。</p>
<p>2025年1月度 (2025/1/1~2025/1/31)</p>	<p>平均エンゲージメント時間の 23%を筆頭に、ページビュー数が 13%、新規ユーザー数が 8%、平均ページビュー数が 6%と全体的に少しずつ伸びています。</p> <p>検索キーワードではアルファベットで大牧温泉がランクインしました。アクセス地域の国外は先月も 6 位、総ユーザー数も変わっていないのですが、お宿やお店の名前だけでも、英語で検索にかかるように文字を入れておくとよいでしょう。</p> <p>人気ページランキングでは、「五箇山ライトアップ 2025」と西暦年が入っています。2025 年になり、今年の旅行予定を計画しようと考え始める方々に向け、行事予定は決まり次第、自社の HP、グーグルマップ」の確認・修正することで、宿泊や飲食等お立ち寄りにつなげられると考</p>

	えます。																																												
<p>2024年12月度 (2024/12/1~2024/12/31)</p>	<p style="text-align: center;">南砺市内宿泊施設（抽出）国別宿泊者数【割合】 出典：国土交通省宿泊旅行統計調査</p> <table border="1"> <caption>南砺市内宿泊施設（抽出）国別宿泊者数【割合】</caption> <thead> <tr> <th>国別</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>香港</td><td>15.50%</td></tr> <tr><td>アメリカ</td><td>12.20%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11.80%</td></tr> <tr><td>台湾</td><td>11.00%</td></tr> <tr><td>タイ</td><td>8.50%</td></tr> <tr><td>シンガポール</td><td>7.50%</td></tr> <tr><td>オーストラリア</td><td>6.50%</td></tr> <tr><td>マレーシア</td><td>6.50%</td></tr> <tr><td>中国</td><td>4.00%</td></tr> <tr><td>ドイツ</td><td>4.00%</td></tr> <tr><td>スペイン</td><td>3.00%</td></tr> <tr><td>フランス</td><td>2.50%</td></tr> <tr><td>韓国</td><td>2.00%</td></tr> <tr><td>イタリア</td><td>2.00%</td></tr> <tr><td>インド</td><td>1.50%</td></tr> <tr><td>ベトナム</td><td>1.20%</td></tr> <tr><td>フィリピン</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>イギリス</td><td>0.80%</td></tr> <tr><td>カナダ</td><td>0.80%</td></tr> <tr><td>ロシア</td><td>0.50%</td></tr> <tr><td>インドネシア</td><td>0.50%</td></tr> </tbody> </table> <p>国土交通省による宿泊旅行統計調査票の、令和5年1月から12月の外国人宿泊者数を申請し情報提供いただきました。市内一部の宿泊施設を抽出して調査した結果であり、全ては網羅したものではありませんが、国別でみると香港からのお客様が1番多くお見えます。人口が多いアメリカはもちろん、日本から比較的距離の近いアジア諸国が上位となる結果でした。</p> <p>令和5年のデータであり、外国人の傾向は各事業者さんによるかと思いますが、データを活かして、自社はここが多いのではないかと仮説を立てターゲットを定めてスモールスタートしていくとよいでしょう。</p>	国別	割合	香港	15.50%	アメリカ	12.20%	その他	11.80%	台湾	11.00%	タイ	8.50%	シンガポール	7.50%	オーストラリア	6.50%	マレーシア	6.50%	中国	4.00%	ドイツ	4.00%	スペイン	3.00%	フランス	2.50%	韓国	2.00%	イタリア	2.00%	インド	1.50%	ベトナム	1.20%	フィリピン	1.00%	イギリス	0.80%	カナダ	0.80%	ロシア	0.50%	インドネシア	0.50%
国別	割合																																												
香港	15.50%																																												
アメリカ	12.20%																																												
その他	11.80%																																												
台湾	11.00%																																												
タイ	8.50%																																												
シンガポール	7.50%																																												
オーストラリア	6.50%																																												
マレーシア	6.50%																																												
中国	4.00%																																												
ドイツ	4.00%																																												
スペイン	3.00%																																												
フランス	2.50%																																												
韓国	2.00%																																												
イタリア	2.00%																																												
インド	1.50%																																												
ベトナム	1.20%																																												
フィリピン	1.00%																																												
イギリス	0.80%																																												
カナダ	0.80%																																												
ロシア	0.50%																																												
インドネシア	0.50%																																												
<p>2024年11月度 (2024/11/1~2024/11/30)</p>	<p>観光消費動態調査を昨年12月に始めて、ちょうど1年が経過しました。ぜひ見てみましょう。</p> <p>南砺市への来訪者にアンケートを実施し、旅行前に期待していたことが、実際に来ていただいてから実現できているか、観光消費ギャップ把握を主目的とした調査です。協力いただいている、お宿さん、観光施設さん、喫茶店さんには深くお礼を申し上げます。</p> <p>R5年度、五箇山地区から先行実施しました。五箇山和紙の項目については訪問者の旅行前の認知度・期待に比べ、旅行中以下には叶えられていない（いわば観光消費のギャップがある）という点が顕著に表れています。すでに和紙工房の新しい見学体験コンテンツや地元の書道家によりインバウンドお気に入りの漢字の書置き販売など取り組みを始めている事業者さんもいらっしゃいます。</p> <p>データは日々、自動更新されています。データから見えてくる様々な事象の改善をスモールスタートで始めましょう。</p> <p>また、アンケート集積場所も今後、拡大していく予定です。その際にはご協力よろしくお祈いします</p>																																												
<p>2024年10月度 (2024/10/1~2024/10/31)</p>	<p>平均ページビューが9%伸びています。</p> <p>アクセス地域での東京都と富山県の割合を見ると、先月は東京都：富山県が10：7でしたが、今月は東京都と富山県がほぼ同じ総ユーザー</p>																																												

	<p>数となりました。年齢は変わらず 25 歳から 54 歳に多く見られています。</p> <p>人気ページランキングでは、南砺金沢・世界遺産フリーパスのページの平均エンゲージメント時間が2分30秒を超えています。先月は30秒弱だったので5倍となり、経路や実際に乗車するための時刻表を見ていると考えられます。もう少しで年末年始の大型連休がやってきます。金沢や白川郷からの流入に備えて、南砺市独自の魅力を発信していきましょう。</p>
<p>2024 年 9 月度 (2024/9/1~2024/9/30)</p>	<p>総ユーザー数と新規ユーザー数が、いずれも先月と比べて40%弱伸びています。検索キーワードでは、上位10位のうち7つがむぎや祭又はこきりこ祭りに対する検索となっています。</p> <p>閲覧開始ページランキングにおいても、城端むぎや祭が旅々なんとトップページを抑えて1位となりました。祭自体が広く知られていることがわかります。9月のイベントは開催が3連休にあったこともあり、富山県へ南砺市へ行こうとプラン立てていらしたと思われるので、往路や復路、休憩に短時間でも祭りと合わせて立ち寄ってもらえるよう情報発信をしていきましょう。</p>
<p>2024 年 8 月度 (2024/8/1~2024/8/31)</p>	<p>平均ページビューが10%強伸びています。検索キーワードでは、上位10位のうち4つが南砺市全域に対する検索であり、むぎや祭りや城端のみまわりはランクインしているものの、ざっくり検索された方が普段より多く見受けられます。人気ページランキングも同様です。</p> <p>先月と比べて木のぐい呑みづくり体験プランの平均エンゲージメント時間が約1.5倍(先月40秒)になり、よく見られています。お盆の帰省に合わせ、観光や体験をしたい層からの検索と考えられます。次は9月の3連休2回ですが、既に計画済みの方が多いと思われるので、10月や11月の3連休や年末年始に向けて域外からのお客様へ情報発信を行います。</p>
<p>2024 年 7 月度 (2024/7/1~2024/7/31)</p>	<p>前月同様、ページビュー数を筆頭に検索は落ち着いている様子が伺えます。来訪客が増える少し前に行う発信が肝となります。</p> <p>検索キーワードでは、バックス富山が先月まで全くランクインしなかったところから多く検索されており、ねつおくり祭りが上位10位のうち7割を占めています。そのほかイベントが行われる地域名などがランクインしました。周遊したいという気持ちの表れと考えられますので、ちょっと寄り道できるようなスポットや店舗は、1か月以上先のイベントと絡めて発信すると効果的です。梅雨時期のお天気と絡めながら発信していくと検索者にとって有益な情報となることから、継続して情報発信をしていきましょう。</p>
<p>2024 年 6 月度 (2024/6/1~2024/6/30)</p>	<p>ゴールデンウィークのあった5月とは打って変わり、前年同様、ページビュー数を筆頭に検索は落ち着いている様子が伺えます。来訪客が増える少し前に行う発信が肝となります。</p> <p>検索キーワードでは、7月のイベント、イベントが行われる地域名などがランクインしました。周遊したいという気持ちの表れと考えられますので、ちょっと寄り道できるようなスポットや店舗は、1か月以上先のイベントと絡めて発信すると効果的です。</p> <p>人気ページランキングでは、幅広く南砺市の検索をされていることがわかります。大きなイベント時には隠れてしまうようなスポットも、落ち着いている時期だからこそ多くの方に見ていただくことが可能です。</p>

	<p>普段はインプレッション数や反応が少ないSNSであっても、梅雨時期のお天気と絡めながら発信していくと検索者にとって有益な情報となることから、継続して情報発信をしていきましょう。</p>
<p>2024年5月度 (2024/5/1~2024/5/31)</p>	<p>ページビュー数は引き続き増加傾向で、平均エンゲージメント時間が10%強伸びています。</p> <p>検索キーワードでは、ゴールデンウィーク中のお祭り以外にも、バットがランクインしました。4月にはそこまで検索されていなかったコンテンツも脚光を浴びていますので、いつ検索されても情報が分かるように、最新の情報や写真を普段から掲載しておくことが肝心です。</p> <p>人気ページランキングでは、なんチャリ関連がランクアップしています。南砺でナニスル?も引き続き上位であることから、お天気の良い新緑の季節にサイクリングが閲覧者の興味を引いていることが分かります。なんチャリはツアーだけでなく、レンタサイクルも行っていますので、サイクリストが立ち寄ってお買い物、一服できる情報を掲載すると効果的です。</p>
<p>2024年4月度 (2024/4/1~2024/4/30)</p>	<p>ページビュー数は引き続き増加傾向で、総ユーザー数及び新規ユーザー数が50%程度増加とかなり上昇しました。</p> <p>検索ワードランキングは引き続き城端曳山祭と桜、人気ページランキングは先月よりもこの2つのページの総ユーザー数が増えました。さらに今日のイベントを調べている方が多いことから、近隣の方々もゴールデンウィークやお天気の良い日を選んで当日の予定を調べている様子がわかります。HPではイベント日や詳細を掲載、各種SNSでは当日の様子を掲載するなど、使いわけて旅行者の情報を掲載すると効果的です。またSNS発信時、文章内に「南砺市 イベント 今日」の文字を文章内に入れることがgoogle検索結果のページ上位に表示されやすくなるSEO対策につながると考えられます。</p>
<p>2024年3月度 (2024/3/1~2024/3/31)</p>	<p>ページビュー数は先月から17%程度増加し、引き続き増加傾向にあります。1ユーザーあたりの平均ページビュー数も2を超えました。人気ページランキング及び検索キーワードでは、桜や曳山など季節のイベント、またイベントの前後にその近隣を周遊しようとしている様子が伺われます。アクセス地域として総ユーザー数、ページビュー数ともに最も多いのは、先月の富山から変わり、東京となりました。一般的に遠方からお越しになる方々が旅行の予定を立てる場合、1か月以上前から宿泊施設や周辺を検索していると考えられます。また、旅先への距離が遠ければ遠いほど、周遊範囲が広いと言われていきますので、桜や季節のイベントがない地域も、それらと絡めて発信すると効果的かもしれません。</p>
<p>2024年2月度 (2024/2/1~2024/2/29)</p>	<p>9月以降ページビュー数は減少傾向でしたが、2月は先月から14%程度ページビュー数は増加しました。中でも、富山県からのアクセスが最も多くなっています。どの地域からも全体的にページビュー数は増えていますが、富山(31%増)、石川(22%増)以外の増加率は小さい状態です。また、海外からのアクセス数は大きく減少しています。震災の影響による「自粛ムード」のためにアクセス数に影響があるのかもしれませんが、「通常通り営業している」ということを発信することで観光客の方も安心して来ることができるようになるので、今回のような非常時は、商品やイベント情報だけでなく、施設の現状についての発信も行っていくと良いかもしれません。併せてHPやグーグルマップの情報もご確認・更新ください。</p>

<p>2024年1月度 (2024/1/1~2024/1/31)</p>	<p>先月からページビュー数や平均ページビュー数はそこまで変わっていないが、エンゲージメント率が4%減少している。先月から始まった南砺でナニスル?のページビューが多くなっており、全体で3位、平均エンゲージメント時間も全体で1位と先月から変わらず多くの人にしっかりと見られています。冬の時期にページビュー数が減っており、域外の方は冬の南砺市に何かあるのかわからない状態だと思うので、この時期だからこそ季節のイベントやスポット情報を発信することで域外の方に冬の魅力をアピールするチャンスかもしれません。</p>
<p>2023年12月度 (2023/12/1~2023/12/31)</p>	<p>先月と比べ、ページビュー数は約20%減少していますが、平均ページビューは増加しており、以前よりも多くのページを閲覧しています。</p> <p>12月から新しく始まった「南砺でナニスル?」がページビュー数で上位に来ており、エンゲージメント時間が最も高くなっていることから、体験ページへの関心が非常に高いと思われます。このページの活用や掲載写真・開催日時の更新などを行うことで、ホームページへの誘導や誘客につながると考えます。</p>
<p>2023年11月度 (2023/11/1~2023/11/30)</p>	<p>先月と比べ、ページビュー数は24%程度減少していますが、エンゲージメント率、平均エンゲージメント時間、平均ページビューについては大きく変化はありません。これまで35-44歳のページビュー数が一番でしたが、今月は25-34歳のページビュー数が一番多くなっています。また、25-34歳の人気ページの項目に唯一「体験・ツアー」が入っており、「体験・ツアー」の若年層の関心は高いものと思われます。現在、ツアー参加者は高齢者層が多いですが、若年層向けのツアーを考えてみるのもよいかもしれません。</p>
<p>2023年10月度 (2023/10/1~2023/10/31)</p>	<p>9月にはページアクセスが少なかった、利賀新そば祭り、なんと彩葉まつりが10月には人気ページランキングのベスト3に入ってきています。また、NHKの番組にて市内のバットについて放映されたこともあり、バットの特集ページは先月から約5倍アクセス数が増えています。</p> <p>「利賀そば祭り」関連のワードからHPに入ってきた人がイベントカレンダーを見て同時期のイベントであった「なんと彩葉まつり」のページにもアクセスしているユーザーもいます。イベントなどの日程は決まり次第更新を行うことで同時期のイベントを調べた人が他のイベントも目に入り、足を運んでいただくきっかけになるかもしれません。</p>
<p>2023年9月度 (2023/9/1~2023/9/30)</p>	<p>9月に開催された城端むぎや祭り、まちなみアート in いなみのアクセス数が多く、前月同様季節のイベント・お祭りのアクセス数が高くなっており、10月以降に開催のものについてもアクセス数が増えています。先月と比べて金沢発着モデルコースの閲覧時間数が1分弱長くなっており、特に東京の方がよく見られています。東京はHPのアクセス数が多い地域のため、金沢からのアクセス情報を掲載することで所要時間のイメージがつきやすくなり金沢から足を運んでもらうきっかけになるかもしれません。</p>
<p>2023年8月度 (2023/8/1~2023/8/31)</p>	<p>前月から変わらずお祭り・イベントのページが多く見られています。</p> <p>ただ、多く見られているイベントがあるエリアのページが前月より約3割程度多く見られている傾向があります。観光協会のページを更新する1つの目安としてそのイベントが行われるひと月ほど前には施設ページの説明文や写真を充実させると良いかもしれません。多くの人にページを見てもらえたり、ページにあるリンクから公式サイトへの流入につながったりする可能性があります。</p>

2023年7月度

(2023/7/1~2023/7/31)

祭りやイベント行事のページへのアクセス数がとても高く、アクセスランキング10位以内に4つのイベントページがランクインしています。7月は季節のイベントでもある「ねつおくり」を検索し、サイトに流入している方がとても多くいることがわかります。また、「城端むぎや祭」がアクセスランキング上位に来ており、少し先の月のイベント情報を気にしている方が増えてきています。各事業者のホームページの季節ものの情報の更新は1,2か月前から行っていくと良いかもしれません。